

# 平成30年産も需要に応じた 米生産が大切です

生産が過剰になれば米価は下落します。  
平成30年以降の「米政策改革」は  
減反廃止ではありません。



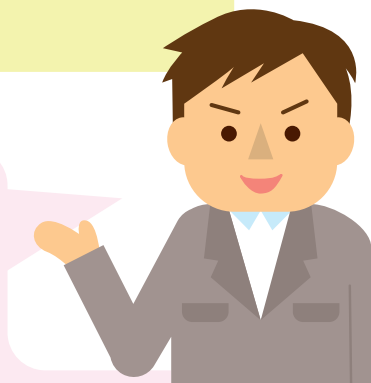
生産者  
米男さん

いよいよ平成30年産がはじまるね！  
平成30年からは「生産数量目標」が  
なくなるって聞いたけど、「主食用米」を  
自由に生産してもいいのかな？

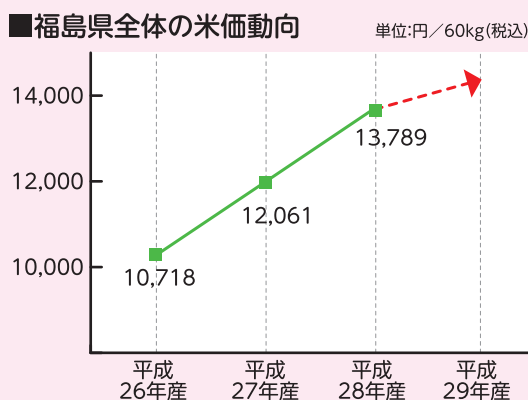


平成26年産と平成29年産の米価  
を比較すると、60kgあたり3,000  
円以上上昇しています。これは需  
要に応じて主食用米の削減に取り  
組んだ結果です。

平成30年産では国の「生産数量目  
標」はなくなりますが、協議会から  
「目安」を提供します。決して減反  
廃止ではありません。



地域協議会担当  
米古くみ



(注)農林水産省公表資料にもとづき県協議会が試算

お問い合わせ先



地域農業再生協議会

電話：

担当：



JA

営農部

課

電話：

担当：

単位：ha

区 分		平成 29 年産実績	平成 30 年産計画	平成 30 年産計画 - 平成 29 年産実績
主食用米		59,900	59,300	▲ 600
非主食用米	飼料用米	5,839	6,800	961
	備蓄米	3,818	3,800	▲ 18
	加工用米	281	320	39
	WCS	1,122	1,100	▲ 22
	その他	40	80	40
	計	11,100	12,100	1,000
全水稲作付面積		71,000	71,400	400

(注) 平成 30 年産主食用米計画は「目安」(面積)

※県全体として、水稲以外にも、麦・大豆、園芸作物への転換を推進します。